

第35回 奈良県高等学校人権教育研究大会報告校・司会者一覧

第1分科会 ゆたかな教育内容の創造と授業改革

A分散会

木内 善浩 五條高等学校

赤山 義信 智辯学園高等学校

奈良女子大学付属中等教育学校 奈良 重幸

「保健(健康)の授業で人権を考える」

保健(健康)の授業で、「WHO(世界保健機関)の健康観」「エイズ」「性」「死生観」「自己実現」などを語る時に、人権の問題は避けて通れない、と報告者は考えている。

各項目について、人権の視点からどのように取り組んできたかを報告する。

橿原高校 人権教育部

「本校人権教育の取り組みについて」

人権教育L.H.R.年間計画、「人権を確かめあう日」の取り組み、年間の行事、記録を網羅した機関誌『あそか』、PTA人権教育部との連携等の日常の取り組みについて報告する。

奈良市立一条高校 前田 久

「保護者と手を携えて」

本校の人権教育における学校と家庭との連携の取り組みについて報告する。

B分散会

葉山 康彦 香芝高等学校

隅谷 篤史 奈良学園中・高等学校

郡山高校 新田 泰三、田淵 真由美、植田なおみ

「総合学習「L.S.Q.」における福祉領域の取り組みについて」

総合学習「L.S.Q.」の福祉領域において取り組んでいる授業内容(視覚障害者のおかれて
いる環境の理解など)の報告をする。

西和清陵高校 中島 功

「総合的な学習の時間」

「総合な学習」における「社会福祉学入門」の内容を報告します。

本校では1年生で「社会福祉」を中心とする総合的な学習を行っています。講義形式から脱却していかに人と人との繋がりを大切にする授業にするか工夫しました。三郷町と連携して講師をのべ25人を3週間にわたり派遣していただき、手話、介護、点字の実習を小人数のクラス(25人)に分け実施しました。今回は、昨年2学期に全盲の垣内さんと共同で行った授業の内容を紹介します。

帝塚山高校 年光 恵子

「目の前の人権問題 - なかまの活用 - 」

外国人排斥の新聞記事と本校のいじめ問題について、生徒が主体的に考えるH.R.展開(ロールプレイングの活用)について報告する。

第2分科会 生きる力と進路保障

松原 康二 天理教校学園高等学校

中野 雄兆 奈良大学附属高等学校

青翔高校 前田 隆敏

「S君の受け入れおよび支援態勢について」

本校には、車イスで学校生活を送っている生徒が1名いる。彼に対する支援について、職員や生徒がどのように取り組んでいるかを報告する。

五條高校賀名生分校

「多様な生徒への生きる力の育成と進路指導 - 社会性をはぐくむ学校行事と日々の取り組み - 」

本校は、五條高校の昼間定時制分校で、全校生徒約80名の小規模校ですが、さまざまな課題を抱える生徒が在籍しています。そんな中で、「違いを認め合い、お互いを大切にする」「分校が自分の居場所感じられ、分校生としての誇りを持てる」生徒を育てること、そして、ひとりひとりの実態を踏まえ進路を保障していくことをめざして取り組んでいます。その取り組みと課題を報告したいと思います。

奈良養護学校 平谷 嘉基

「進路指導の現状と課題」

本校の進路指導の取り組みや現状、今後への課題等について報告する。

第3分科会 生徒の姿と自主活動

柳川 修 高取国際高等学校

新保 久俊 西大和学園中・高等学校

山辺高校 片山 周二

「本校解放研の取り組みについて」

現在の3年生を中心に、ここ3年間ほどの本校解放研の取り組みの内容と課題を報告します。

高田高校 藤田 博也

「ヒューマンライツクラブおよびヒューマンハート系の取り組みについて」

ヒューマンライツクラブの昨年度からの取り組みとヒューマンハート系の取り組みについて報告する。

御所工業・御所実業高校 堀田 和宏、 辻野 博勝

「阪田三吉って誰 - 御所工業高校解放研 昨年の活動より - 」

解放研の夏期研修の内容と生徒の活動について報告する。 平和学習(大阪空襲について)
日雇い労働者問題(あいりん地区) 舳松人権歴史館